

障害者へ理解深める 中区のエネジン 社員対象に講座

LPガス販売のエネジン（浜松市中区）は19日、全正社員を対象に、障害者への理解を深める講座を始めた。障害者がより働きやすい職場環境にしようと、8月上旬までに同区の本社や県内支店で計4回開き、約180人が受講する。

初回は本社で行い、ハローワーク浜松の精神障害者雇用トータルサポーターの担当者が、100人に1人弱がかかるとされる統合失調症や、気分障害などの特性を解説した。統合失調症を患う人への配慮ポイントとして、ストレスや環境の変化に弱いことや、混乱させないよう情報を紙に書いて具体的に伝えることなどを挙げた。障害者の就職件数が毎年増加する中で、障害種別では精神障

害者の件数が伸びている状況を説明した。

同社は5人の障害者を雇用している。総務課の宮田正直課長は「障害者が安定して長く働けるよう職場内のサポーターを増やしていく」と話した。



講座を受ける社員ら＝浜松市中区のエネジン

2023年（令和5年）7月21日（金）静岡新聞